

第3次日野市学校教育基本構想 振り返り

1. はじめに
2. 創意工夫した学校経営
3. 授業改善
4. 地域等との連携
5. 終わりに



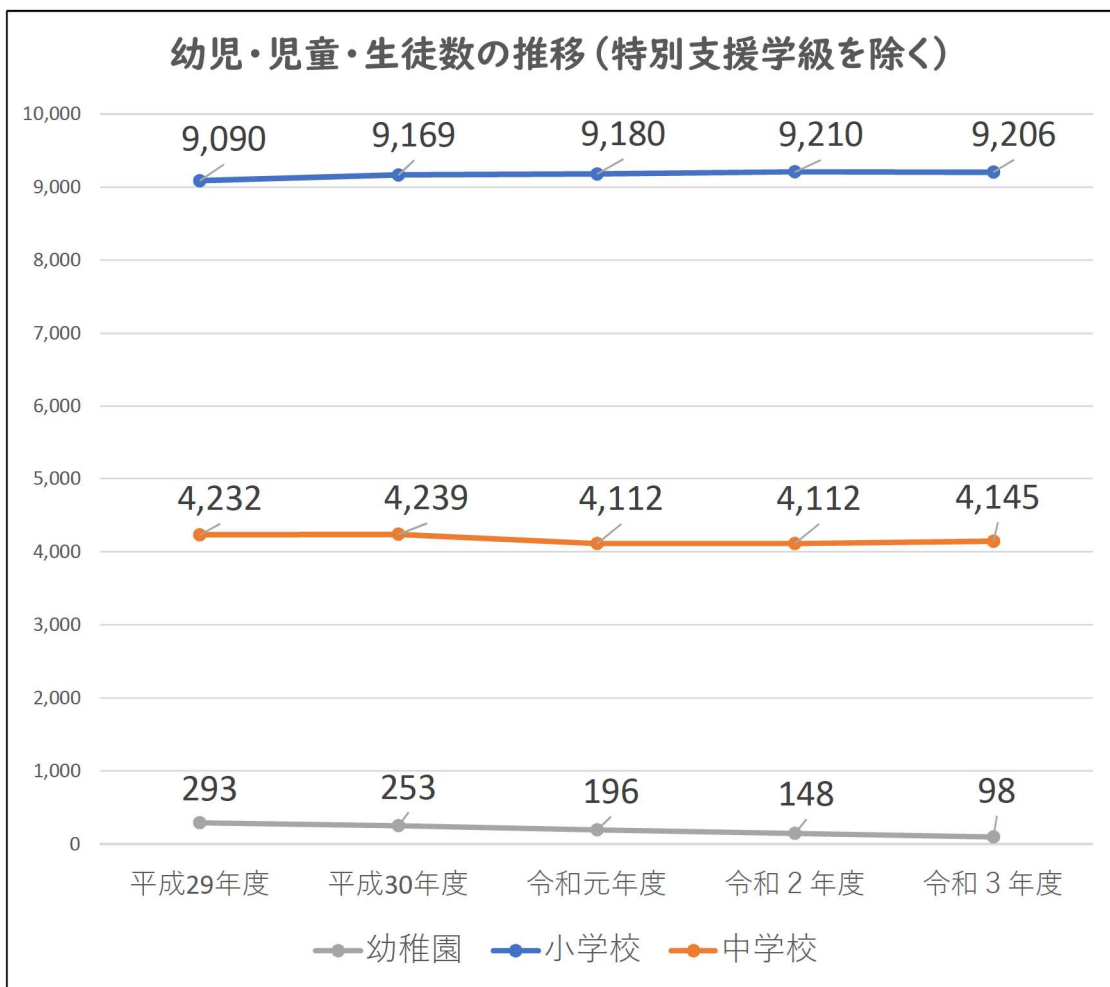
令和5年5月23日(火)

日野市教育委員会 事務局

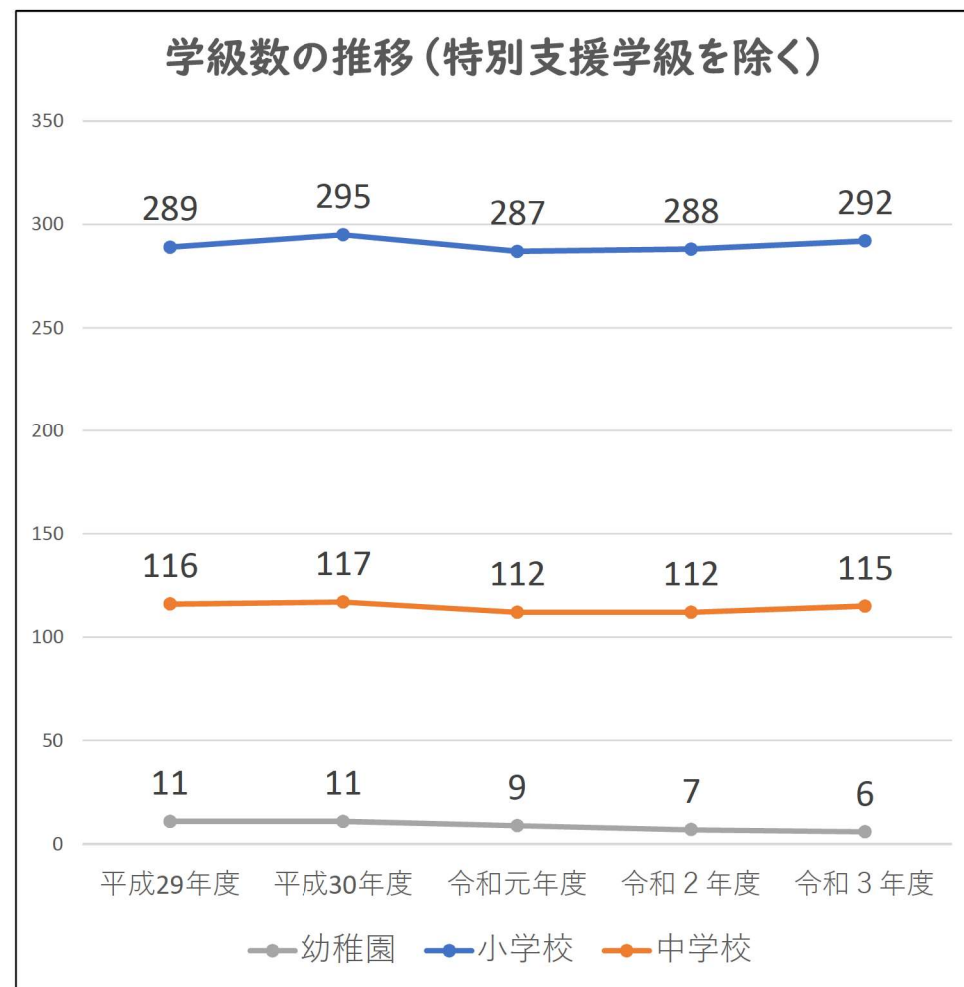
1. はじめに

1. はじめに

日野市立 幼稚園3園 小学校17校 中学校8校



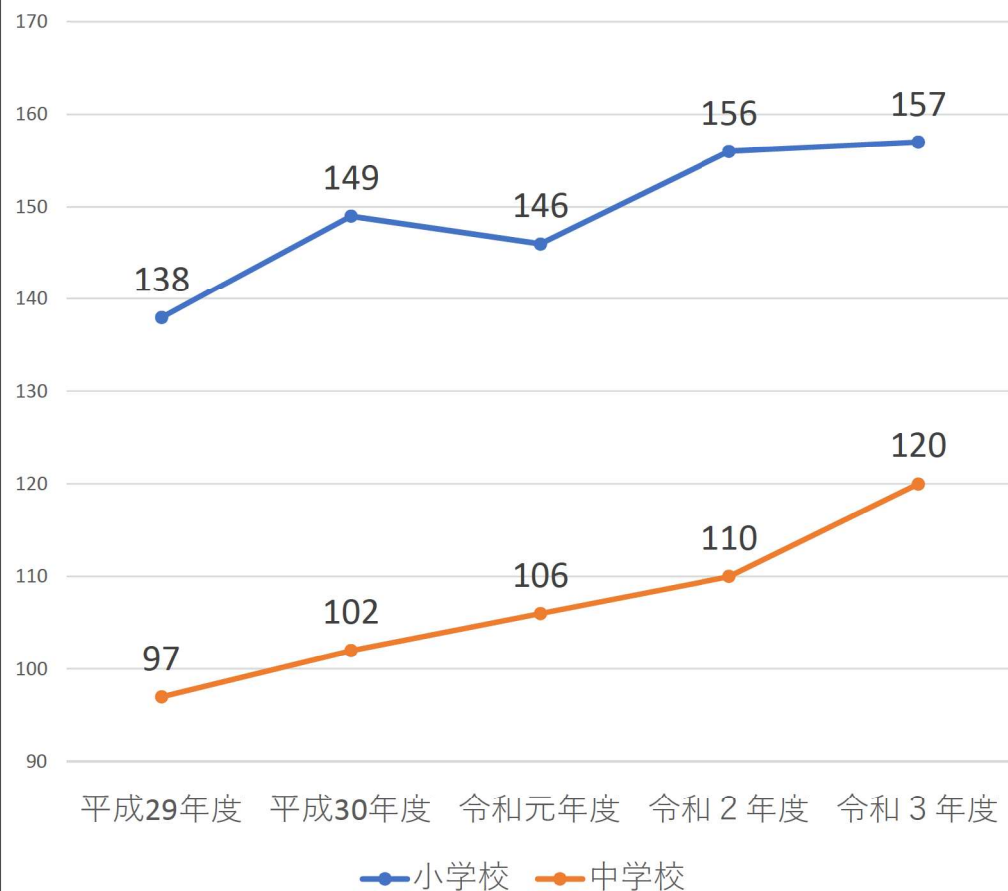
『日野の教育』（令和4年度版）



『日野の教育』（令和4年度版）

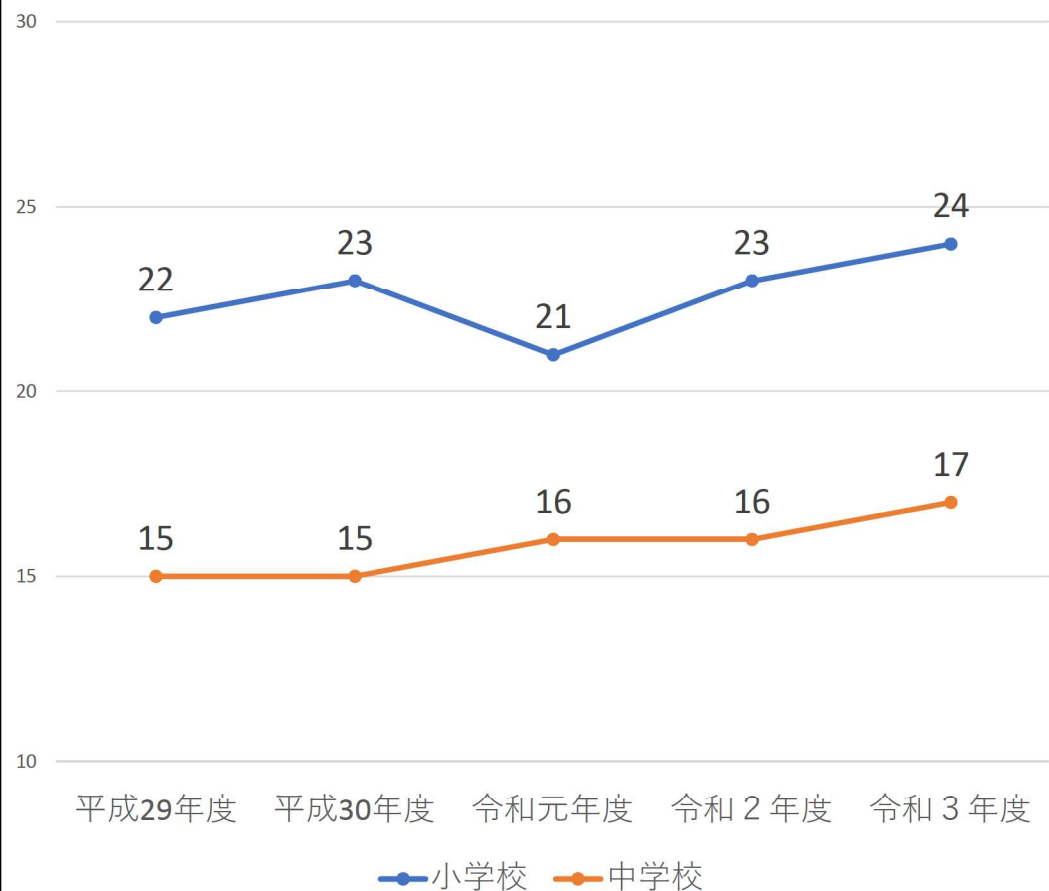
1. はじめに

児童・生徒数の推移（特別支援学級）



『日野の教育』（令和4年度版）

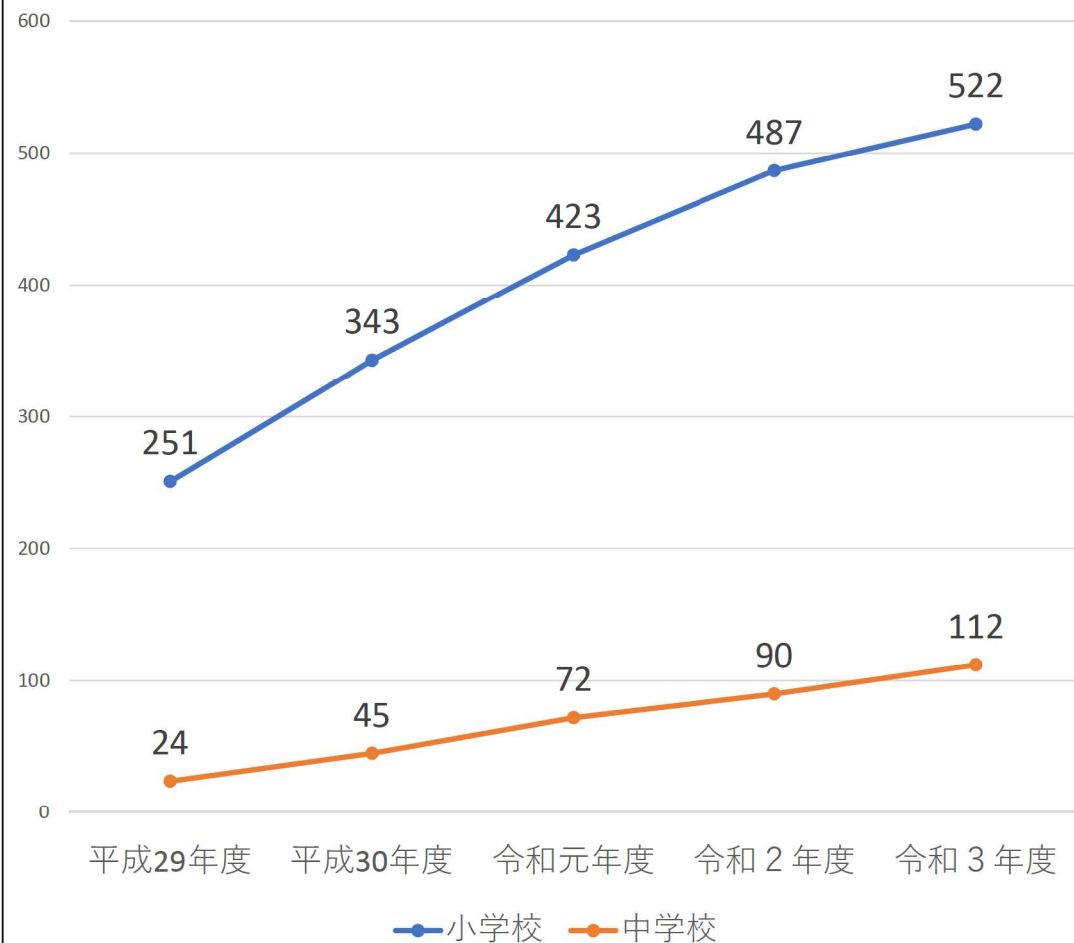
学級数の推移（特別支援学級）



『日野の教育』（令和4年度版）

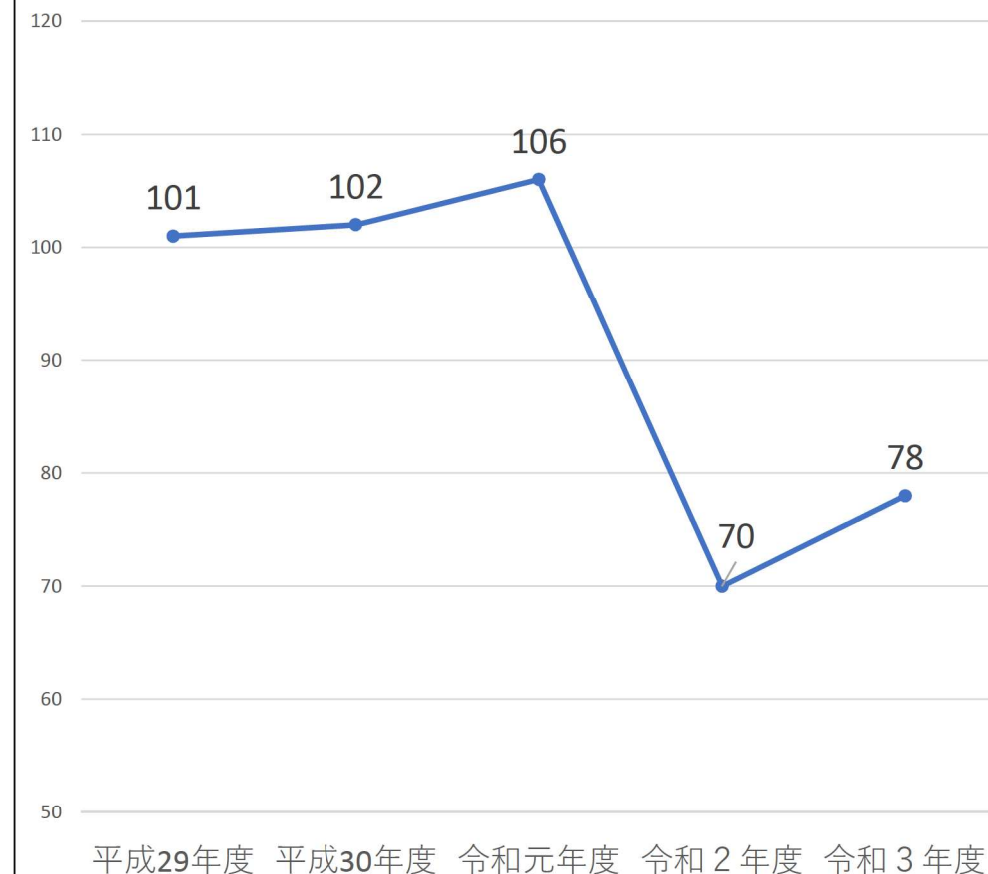
1. はじめに

児童・生徒数の推移（特別支援教室）



『日野の教育』（令和4年度版）

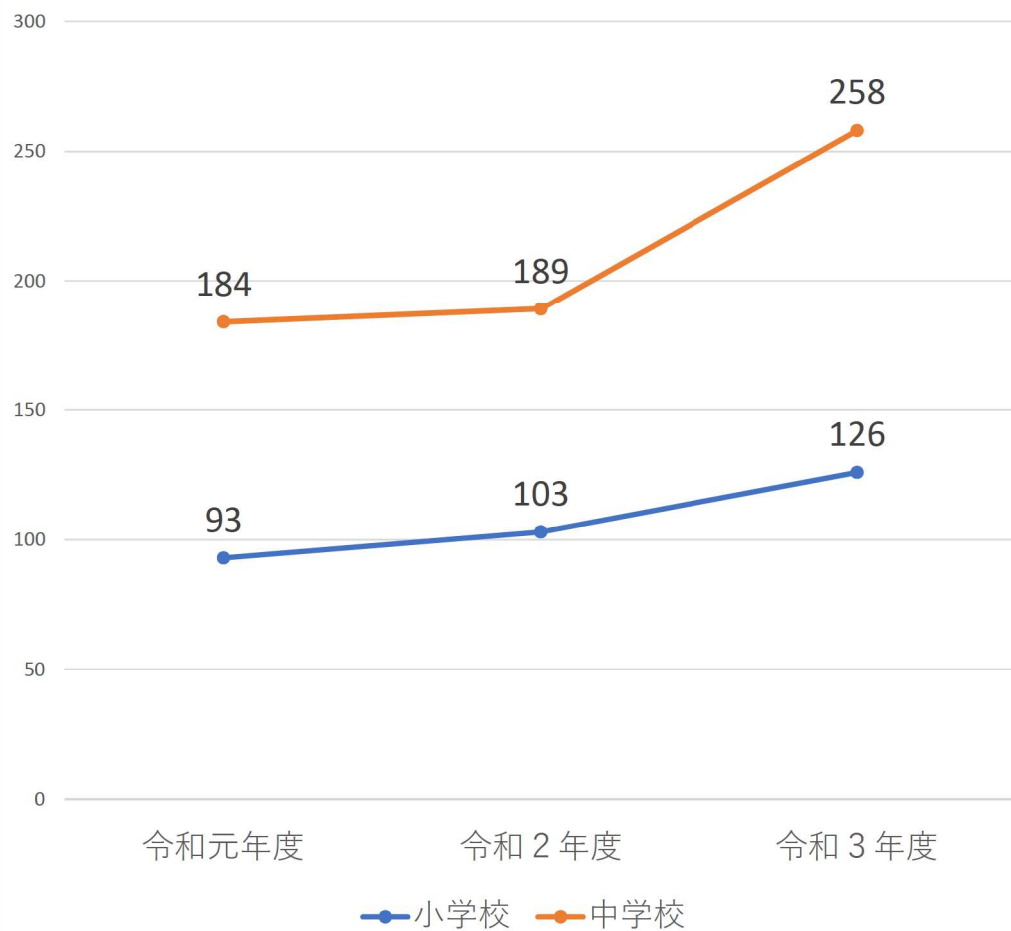
児童数の推移（言語・難聴通級指導学級）



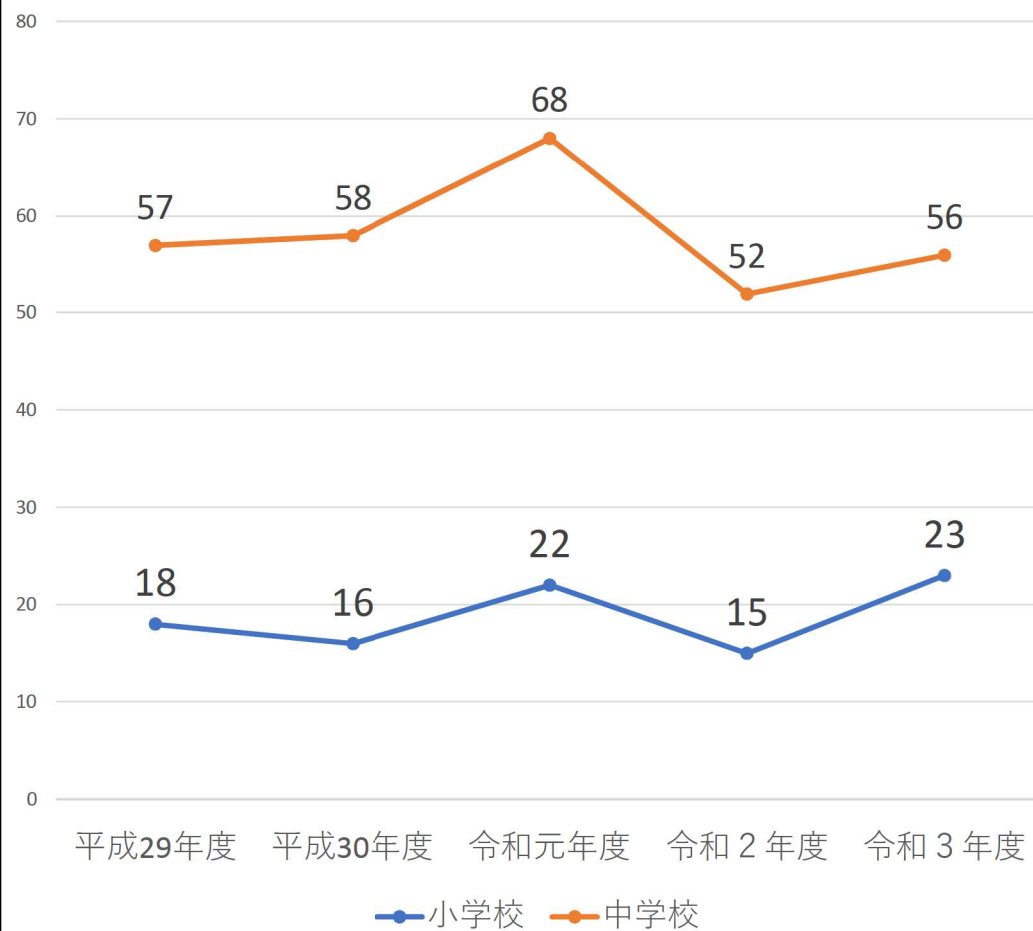
『日野の教育』（令和4年度版）

1. はじめに

不登校児童・生徒数の推移



わかば教室入室児童・生徒数の推移



1. はじめに

日野市 未来に向けた学びと育ちの基本構想



変化の速度と幅が大きく先の見えないこれからの社会では、自分たちで考えて、自分たちの進むべき道を見つけ出していくことが大切です。

この未来に向けた学びと育ちの基本構想では、子供たち自らが育んでいってほしい力を「すべての“いのち”がよろこびあふれる未来をつくっていく力」としました。

この力を育んでいく環境を、学校、家庭、地域、そして子供たちみんなでつくっていきます。

そのためのビジョンを定めました。

すべての“いのち”が
つくって

私を私が安心して 認めることができる

人を認める 人を受け入れる

その人の良さを認める 見つける

そして 自分の世界がひろがる

自分として生きていく

よろこびあふれる未来を
いく力

ひとりひとりの“いのち” ひととは多様です

みんなが認め合い

それぞれの良さを最大限に発揮し合います

大人は 子供を受け止め信頼し

まかせ支えます

子供たちは 信頼され まかせ支えられ

私らしく生きます

そして今を生き 未来をつくっていきます

あなたのわくわくを大切にします

「 あなたのわくわくを置いて、みんなと共有しましょう！ 」

みんなで 対話をしながらつくりあげていく
学び合い育ち合い 心のわくわくムーブメント

★みんなできつっていきます ★みんなができることから始めます
★みんなで責任をもちます ★みんなできつっていきます

一律一斉の学びから
自分に合った
多様な学びと学び方へ

- ひとりひとり学びへの興味も理解のしかたも違います。自分に合った学び方で学んでいきます
- 自ら設定した目標に向かって、自らの力を最大限に引き出していきます
- 分からないことを「分からない」と言える雰囲気、「教えて」と言える関係、教え合える風土を大切にしていきます

自分たちで考え
語り合いながら生み出す
学び合いと活動へ

- 疑問やおどろきから生まれる問いを大切に、自分たちなりの方法で、自分たちなりの答えにたどりつく過程を大切にします
- 多様な人が支え合い、知恵を出し合って、新しい良きものを生み出していきます
- 大切なことはみんなで話し合い、ルールを決めて自分たちで責任をもって行動します
- 地域の人と出会いながら、感じ、考え、地域と結びつきながら活動を展開します

わくわくが広がっていく環境のデザインへ

- 地域の人や企業、大学が、わくわくときどきの学びを提供してくれます
- 保護者が参加してくれたり、手伝ってくれたりします。時には企画・運営してくれます
- 先生や大人は学びの促進者です。問いを深めてくれたり広げてくれたり、いろいろな考え方に会わせてくれます
- 楽しく学べるICT環境やひとりひとりへの支援体制が学びと育ちを応援してくれます

1.はじめに

第3次日野市学校教育基本構想の具現化

第3次日野市学校教育基本構想プロジェクト

平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
<u>○プロジェクト参加メンバー</u> ・小学校17名、中学校16名の教員 <u>○目的</u> ・自分のわくわくの実現	<u>○プロジェクト参加メンバー</u> ・小学校31名、中学校9名、 わかば教室2名の教員 <u>○目的</u> ・自分のわくわくの実現	<u>○プロジェクト参加メンバー</u> ・各幼稚園・小・中学校1名以上の 教員、わかば教室の教員 <u>○目的</u> ・学校間のつながりをもつ ・新しい授業実践への挑戦	<u>○プロジェクト参加メンバー</u> ・各小・中学校1名の教員 <u>○目的</u> ・9年間を見通した総合的な学習の 時間のカリキュラム編成

研究奨励校 発表会

令和2年度	令和3年度	令和4年度		
<u>○東光寺小学校</u> ・特別活動	<u>○日野第一中学校</u> ・対話 <u>○平山小学校</u> ・第3次日野市学校教育基本構想	<u>○七生緑小学校</u> ・対話 <u>○日野第三小学校</u> ・授業改善 <u>○夢が丘小学校・七生緑小学校・日野第三中学校</u> ・インクルージョン	<u>○豊田小学校</u> ・授業改善 <u>○日野第五小学校</u> ・GIGA	<u>○日野第一中学校</u> ・GIGA <u>○滝合小学校</u> ・対話

各学校における特色ある教育活動

1. はじめに

成 果 (管理職の声から)

カテゴリー	管理職の声
創意工夫した学校経営	・やりたいこと、実践したいことを具体的に考えての実施 ・校長の裁量性を担保しながらの教育活動の実施 ・「対話」を重視した具体的な教育活動の実施
授業改善	・学習者用端末による個別最適な学びと協働的な学びの実施 ・一律一斉の授業形態から、探究学習の実施（子供主体） ・児童同士の対話を大切にした授業づくり
地域等との連携	・子供、家庭、地域、学校のみんなでつくるという理念の共有 ・地域や実態に即した総合的な学習の時間のカリキュラム編成 ・地域と連携した教育活動の推進

2. 創意工夫した学校経営

2. 創意工夫した学校経営

カテゴリー	管理職の声
創意工夫した学校経営	・<u>やりたいこと、実践したいこと</u>を具体的に考えての実施 ・<u>校長の裁量性</u>を担保しながらの教育活動の実施 ・<u>「対話」</u>を重視した具体的な教育活動の実施

第3次日野市学校教育基本構想プロジェクト

各学校における特色ある教育活動

2. 創意工夫した学校経営

第3次日野市学校教育基本構想プロジェクト

あなたのわくわくを大切にします

あなたのわくわくを書いて、みんなと共有しましょう！

みんなで対話しながらつくりあげていく
学び合い育ち合い **わくわく**ムーブメント

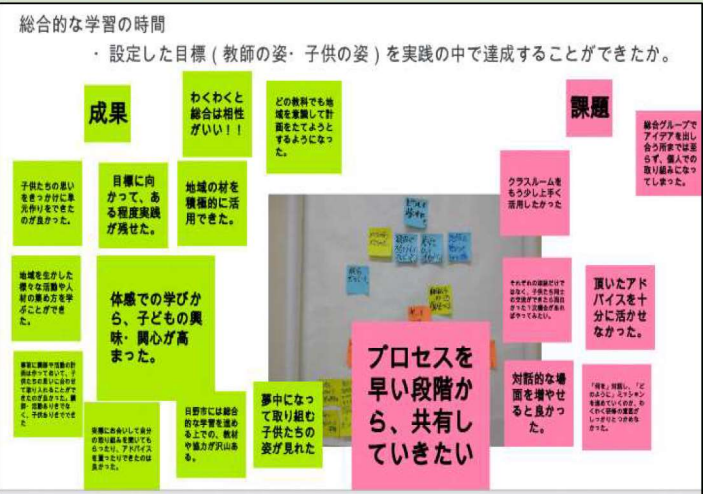
★みんなで作っていきます ★みんなができることから始めます
★みんなで責任をもちます ★みんながゆっくり進みます

プロジェクトの前提

- ① 一人一人のわくわくを大切に実現する場
- ② 第3次日野市学校教育基本構想の理念と理論を学ぶ場
- ③ 軽井沢風越学園と実践を共有する場
- ④ 学びを授けてもらう場ではなく、みんなでわくわくを持ち寄って学ぶ場

2. 創意工夫した学校経営

プロジェクトメンバーのわくわくから生まれたプロジェクト

平成31年度	令和2年度	令和3年度
○ 異年齢で学ぼう ○ 地活プロジェクト ○ 子どもとつくる学校行事 ○ 新しい学び (個別化・協同化)の実践 ○ 子ども企画の完結型授業	※プロジェクト メンバー個々での プロジェクト 	○ Chromebook ○ 総合的な学習の時間 ○ 主の転換(学び合い) ○ 生活科 ○ プロジェクト型の学び ○ 自由進度
○ <u>地活プロジェクト</u> ・第6学年 総合的な学習の時間 「わたしたちの町をよりよくしよう」 ・地域に貢献する活動を通した プロジェクト型の学び ①日野PRCMをつくろう ②町をきれいにしよう ・日野市の活性化に向け、小学生に できることはないかと考え、実現に 向けて活動した。	○ <u>子どもがつくる「わくわくプロジェクト」</u> ・第4学年 総合的な学習の時間 「わくわくプロジェクト」 ・児童の活動内容 ①工作 ②図鑑づくり ③絵画 等 ・自分の「やってみたい」という気持ち を形にするために、自分で計画を立て、 実行していく活動をした。	○ <u>総合的な学習の時間</u> 

2. 創意工夫した学校経営

令和3年度 日野市学校教育基本構想プロジェクト

第1回

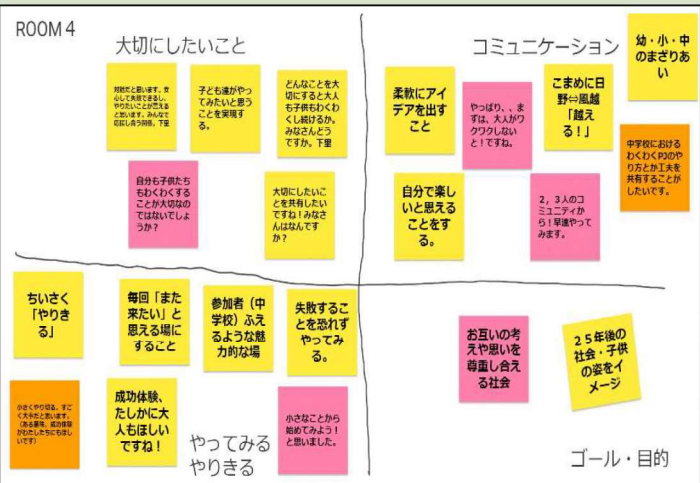
- テーマ
対話等を通したプロジェクト設計
- 内容
 - ・岩瀬先生の講演
 - ・プロジェクトメンバーが大切にしたいことの共有
(学習者用端末活用)

第7回

- テーマ
授業リフレクションの手法を学ぶ
- 内容
 - ・市内学校の校内研究の参観
 - ・プロジェクトの進捗状況の確認

視察研修

- 視察場所
軽井沢風越学園
- 内容
 - ・自由進度で学ぶ授業参観
 - ・テーマプロジェクトの参観
 - ・学校づくりについての対話



2. 創意工夫した学校経営

各学校における特色ある教育活動

日野第四小学校

マイプランスクール

- 自分で考え、学びをつくっていく活動
 - ・月1回の活動
 - ・1年間の学びを保護者へプレゼンテーション
- 児童の個人探究
 - ・オリジナル図鑑
 - ・箏の演奏
 - ・プログラミングを使っのゲーム制作



日野第八小学校

すべての子供の活躍の舞台

- 学校づくりのテーマとチャレンジ目標の共有化
 - ・テーマ「今よりもっと楽しい学校をつくる」
 - ・目標「くふうでつくる ひのハ小ーすすんで・みんなて・楽しんでー」
- ESDミーティング
 - ・二酸化炭素を減らすためには
 - ・エネルギー問題～持続可能な電力を～



第四幼稚園

体を動かす楽しさ・心地よさ向上プロジェクト

- 日野第四小学校との連携
 - ・体を動かす活動を通した交流
 - ・表現運動
 - ・タグ取り鬼ごっこ 等
- 横浜国立大学教授 梅澤先生による指導
 - ・ボールを使った遊び
 - ・ソフト跳び箱
 - ・鉄棒 等



3. 授業改善

3. 授業改善

カテゴリー	管理職の声
授業改善	・学習者用端末による<u>個別最適な学びと協働的な学びの実施</u> ・一律一斉の授業形態から、<u>探究学習の実施</u>（子供主体） ・<u>児童同士の対話</u>を大切にした授業づくり

研究奨励校 発表会

第3次日野市学校教育基本構想プロジェクト

3. 授業改善

研究奨励校 発表会		
令和2年度	令和3年度	
○東光寺小学校 ・特別活動	○日野第一中学校 ・対話	
	○平山小学校 ・第3次日野市学校教育基本構想	
令和4年度		
○七生緑小学校 ・対話	○豊田小学校 ・授業改善	○日野第一中学校 ・GIGA
○日野第三小学校 ・授業改善	○日野第五小学校 ・GIGA	○滝合小学校 ・対話
○夢が丘小学校・七生緑小学校・日野第三中学校 ・インクルージョン		

一律一斉の学びから
自分に合った
多様な学びと学び方へ

- ・ひとりひとり学びへの興味も理解のしかたも違います。自分に合った学び方で学んでいきます
- ・自ら設定した目標に向かって、自らの力を最大限に引き出していきます
- ・分からないことを「分からない」と言える雰囲気、「教えて」と言える関係、教え合える風土を大切にしていきます

自分たちで考え
語り合いながら生み出す
学び合いと活動へ

- ・疑問やおどろきから生まれる問いを大切に、自分たちなりの方法で、自分たちなりの答えにたどりつく過程を大切にします
- ・多様な人が支え合い、知恵を出し合って、新しい良きものを生み出していきます
- ・大切なことはみんなで話し合い、ルールを決めて自分たちで責任をもって行動します
- ・地域の人と出会いながら、感じ、考え、地域と結びつきながら活動を展開します

わくわくが広がっていく環境のデザインへ

- ・地域の人や企業、大学が、わくわくときどきの学びを提供してくれます
- ・保護者が参加してくれたり、手伝ってくれたりします。時には企画・運営してくれます
- ・先生や大人は学びの促進者です。問いを深めてくれたり広げてくれたり、いろいろな考え方に出会わせてくれます
- ・楽しく学べる ICT 環境やひとりひとりへの支援体制が学びと育ちを応援してくれます

3. 授業改善

研究奨励校 発表会

自分たちで考え
語り合いながら生み出す
学び合いと活動へ

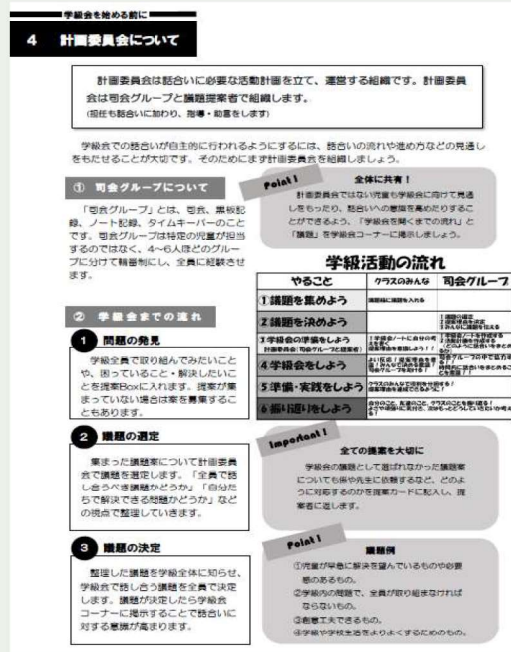
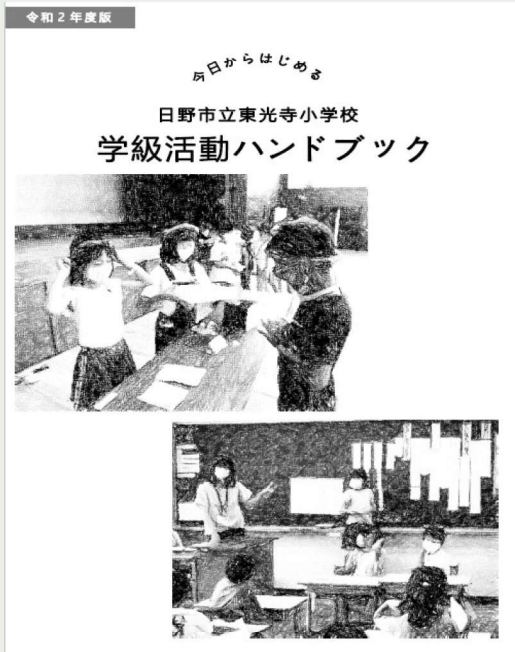
東光寺小学校

○研究テーマ

自他を大切にし、よりよい学級・学校を目指す児童の育成
～互いに認め合い、よさを発揮し合う集団活動を透して～

○「学級活動ハンドブック」の作成と活用

- ・学級会のオリエンテーションや計画委員会の進め方、話合いの進め方等について、実践を基にまとめた指導の手引き



○成果

- ・「学級活動ハンドブック」を基に、発達段階に合わせた系統的な指導が行われ、児童の自主的・実践的な活動が多く見られるようになった。
- ・自分たちの課題を話し合って実践し、課題を解決しようとする姿が多く見られるようになった。
- ・高学年では学級活動の経験がクラブ活動や児童会活動などで生かされるようになった。
- ・自分や友達のよさに気付くことができる児童が増えた。

3. 授業改善

研究奨励校 発表会

わくわくが広がっていく環境のデザインへ

- ・ 地域の人や企業、大学が、わくわくどきどきの学びを提供してくれます
- ・ 保護者が参加してくれたり、手伝ってくれたりします。時には企画・運営してくれます
- ・ 先生や大人は学びの促進者です。問いを深めてくれたり広げてくれたり、いろいろな考え方に会わせてくれます
- ・ 楽しく学べる ICT 環境やひとりひとりへの支援体制が学びと育ちを応援してくれます

日野第五小学校

○研究テーマ

他者と協働して学びを深める児童の育成
～多様な考えを可視化・共有化する学習者用端末の活用～

第1学年	第4学年
○考えの共有化 ・ 協働的な学びを実現するオクリンクの活用 ・ 協働的な学びにおけるムーブノートとジャムボードの活用 <u>オクリンク</u> 構成を考えながらのカード操作や写真を貼り付けたカードへの書き込みなどを友達と共有する。 順序立てて考える思考のサポート、意見の共有、意見の比較における有効的なICT活用を目指す。	○成果 教師 ・ 多様な機能を使い分け、様々な教科や場面での活用挑戦できた。 ・ デジタルとアナログを効果的に使い分けることで、無理なく学習者用端末を活用することができた。 児童（児童の記述より） ・ 「意見の共有・交流がしやすくなった」 ・ 「いろいろな意見が見られる」 ・ 「簡単に伝えられる」 ・ 「考えや情報を出し合える」 ・ 「友達と協力して仲が深まった」 <u>ムーブノート</u> 共有した考えに、コメント機能で意見を伝え合ったりテキスト分析で傾向を探ったりする。 <u>ジャムボード</u> 全員で出し合った考えを基に、全体で課題設定を確認し、自分が伝えたい課題を選択する。 交流を通して、多様な意見に気づき、自分の思考を広げる。

--

3. 授業改善

研究奨励校 発表会

七生緑小学校

- ・自ら設定した目標に向かって、自らの力を最大限に引き出していきます
- ・分からないことを「分からない」と言える雰囲気、「教えて」と言える関係、教え合える風土を大切にしています

- ・切にします
- ・多様な人が支え合い、知恵を出し合って、新しい良きものを生み出していきます
- ・大切なことはみんなで話し合い、ルールを決めて自分たちで責任をもって行動します
- ・地域の人と出会いながら、感じ、考え、地域と結びつきながら活動を展開します

わくわくが広がっていく環境のデザインへ

- ・地域の人や企業、大学が、わくわくどきどきの学びを提供してくれます

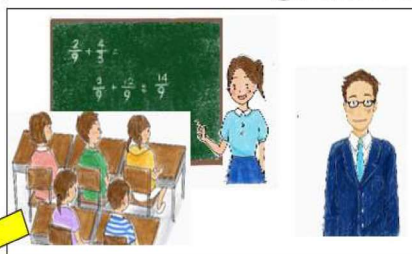
○研究テーマ

学び続ける児童を育てる算数科の授業づくり ～意図的な対話を用いて～

○意図的な対話を行うための授業のサイクル

- ・対話を有意義なものにするために、授業の中で全体での対話、ペア・グループでの対話、ペア・グループの対話後の即時評価の実施

①全体での対話



友達の説明を
聞いてみよう。

②ペア又はグループでの対話



③即時評価



○成果

教師

- ・「対話」を取り入れる場面を焦点化したことで、意図的に「対話」を取り入れるようになった。

- ・導入場面を丁寧に扱うことで、児童全員が見通しをもって問題に取り組めるようになった。

児童（児童の記述より）

- ・「先生に『〇〇だと思う人？』と言われたときに自信をもって手を挙げられるようになった。」

- ・「隣の友達になら上手く説明できるようになった。」

3. 授業改善

第3次日野市学校教育基本構想プロジェクト

中学校第3学年

京都への修学旅行で日本の魅力を再発見。
日野・平山との歴史的なつながりも見えてきた。
世界規模でSDGsを達成するための
大胆な提案を発信しよう！

中学校第2学年

平山・日野拠点に東京へ
職場体験で地域の素敵な大人と出会った！
地域の産業の課題を見つけよう

中学校第1学年

日野市の中の平山地区の役割を再認識！
地区防災訓練で中学生の力を実感。
地域に参加をしていこう

平山中学校区の内容



小学校第3学年

みつける
やってみる

小学校第4学年

つながる
つなげる

小学校第5学年

かかわる
ためす

小学校第6学年

ひろげる
みつめる

地域に出て世界を広げる

自分の考えを自分の言葉で
発信し語る

4. 地域等との連携

4. 地域等との連携

カテゴリー	管理職の声
地域等との連携	・<u>子供、家庭、地域、学校</u>のみんなでつくるという理念の共有 ・<u>地域や実態に即した総合的な学習の時間のカリキュラム編成</u> ・<u>地域と連携した教育活動の推進</u>

研究奨励校 発表会

各学校における特色ある教育活動

4. 地域等との連携

研究奨励校 発表会

七生特別支援学校 日野第三中学校 夢が丘小学校 七生緑小学校 わかば教室

○研究テーマ

共生社会・共生地域をつくる児童・生徒の育成
～真に「共に生きるまち」を目指して～

○オンライン交流あいさつ運動



○アート交流



○七生特別支援学校との交流



○とびだせアート交流

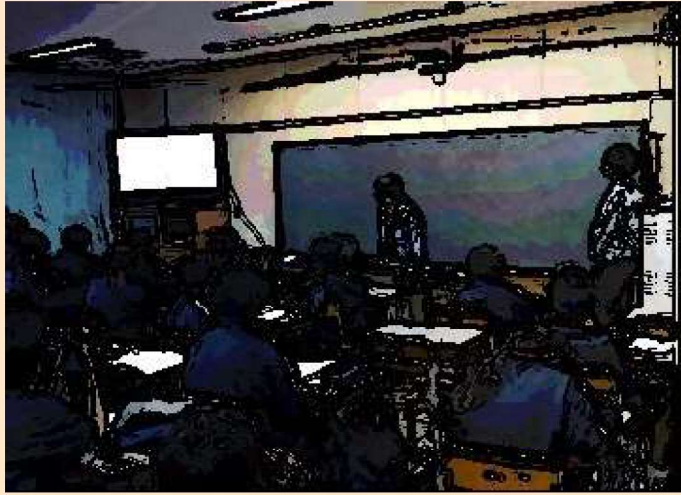


○成果

- ・児童・生徒の主体的な発想を通して、共通の話題や遊びから交流等の計画を立てられるようになった。
- ・コロナ禍でも学習者用端末等を使用したオンライン交流を実施し、同学年の児童・生徒と一緒に関わることで、人と関わることの楽しさや地域のよさを味わうことができた。
- ・学習者用端末等を使用することで、時間と場所にとらわれることなく地域の学校同士であいさつ運動や学校紹介の交流活動を行うことができた。
- ・駅の構内にアート作品の展示を行い、同じ地域にある学校等での交流活動について地域の人にも知ってもらう機会となった。

4. 地域等との連携

各学校における特色ある教育活動

日野第七小学校 第3学年	旭が丘小学校 第4学年	日野第一中学校 第1学年
黒川清流公園プロジェクト	「発明家になろう」プロジェクト	日野の魅力を見つけよう
○内容 ・黒川清流公園での自然体験 ・日野市役所環境保全課職員による講話 ・日野市の自然を守るためにできることを考え、発信する。 ○児童の声 ・自分たちの住んでいる地域の自然を大切にしたい。	○内容 ・バリアフリーの視点でGEヘルスケアジャパンの方との地域巡り ・「光の家」施設見学及び車いす体験。 ・「こんなものがあたらいいな」の発信。 ○児童の声 ・自分の住んでいる町を見直し、必要なことを考え発表でき、とても楽しかった。	○内容 ・日野塾発見隊の方による講話 ・日野市の魅力を聞ける場所への訪問 ○生徒の声 ・日野市の深い魅力を知ったらその魅力を発信し、今後も魅力が守られていくようにすることが私たちのすべきことだと思った。
		

5. 終わりに

5. 終わりに

成 果 (管理職の声から)

カテゴリー	管理職の声
創意工夫した学校経営	・やりたいこと、実践したいことを具体的に考えての実施 ・校長の裁量性を担保しながらの教育活動の実施 ・「対話」を重視した具体的な教育活動の実施
授業改善	・学習者用端末による個別最適な学びと協働的な学びの実施 ・一律一斉の授業形態から、探究学習の実施（子供主体） ・児童同士の対話を大切にした授業づくり
地域等との連携	・子供、家庭、地域、学校のみんなでつくるという理念の共有 ・地域や実態に即した総合的な学習の時間のカリキュラム編成 ・地域と連携した教育活動の推進

5. 終わりに

課題 (管理職の声から)

日野市の学校教育が目指す方向性、児童・生徒像、内容を明確にすること

具体的な指標を示すこと

「日野の教育はこれ」と日野市の教員が自信をもって言えること

第3次日野市学校教育基本構想 振り返り

ありがとうございました。



日野市教育委員会 事務局